光晴会病院化学療法委員会
2024 年 3 月 1 日改訂

カバジタキセル療法
（ジェブタナ）

患者番号:　　氏名:　　性別：　　年齢:

がん種（適応）	前立腺癌		
開始年月日	年　　月　　日		
1 コース期間	21　日間		
体格	身長　　cm　　体重　　kg　　体表面積　　㎡		
嘔気・嘔吐リスク	軽度	制吐剤	グラニセトロンゼリー （+デキサート注 6.6mg）
特記事項	アルコール含有 25m g 未満の時は溶解液を 100m L にする		

投与薬剤	投与量	投与時間	投与スケジュール
ジェブタナ	mg（25mg/㎡）	60 分	Day1
プレドニン	10mg/day		連日投与

FN のリスク因子を有する患者はペグフィルグラスチムの予防投与を推奨（3 日目に外来で投与）
（リスク因子：65 歳以上　PS 不良　既往歴あり　広範囲放射線照射等の強い前治療歴　腫瘍の骨浸潤　等）

【処方が必要な内服薬】

グラニセトロンゼリー2 mg　1 包 1×　ジェブタナの 30 分前
レスタミン錠（10）　5 錠 1×　　ジェブタナの 30 分前
プレドニン（5）2 錠　　／　毎日

□HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介
□HBs 抗原(−) → □HBs 抗体(−)and HBc 抗体(−)
□HBs 抗体(+)and/or HBc 抗体(+) → □HBV-DNA 定量(−) → 3 ヵ月毎 定量
□HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

指示医師サイン＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿